

第5号様式(第7条関係)

会議録

会議の名称	令和6年度第6回清須市総合計画審議会
開催日時	令和6年11月13日 水曜日 午前10時から午前11時45分まで
開催場所	清須市役所南館3階 大会議室
議題	1 開会 2 議事 《報告事項》 (1) パブリック・コメントの実施結果について 《審議事項》 (1) 第3次総合計画 序論・基本構想(案)について (2) 第3次総合計画 前期基本計画(案)について (3) 清須市第3次総合計画の策定に関する答申(案)について 3 答申 4 市長あいさつ 5 清須市第3次総合計画の推進に向けて 6 閉会
会議資料	会議次第、委員名簿、配席図 〔会議資料〕 資料① 清須市第3次総合計画に係るパブリック・コメントの実施結果 資料②-1 第3次総合計画案の主な修正点 資料②-2 第3次総合計画 序論・基本構想(案) 資料②-3 第3次総合計画 前期基本計画(案) 資料③ 第3次総合計画の策定に関する答申(案) 参考資料① 清須市総合計画審議会設置条例・清須市総合計画審議会の公開等
公開・非公開の別(非公開の場合はその理由)	公開
傍聴人の数(公開した場合)	2人
出席委員	後藤(小)委員、水野委員、後藤(鈴)委員、山内委員、後藤(隆)委員、時田委員、山田(宗)委員、梶浦委員、渡辺委員、野田委員、水谷委員、山田(康)委員、齋藤委員、前田委員、原委員、高山委員、横井委員
欠席委員	佐藤委員、伊藤委員

出席者（市）	永田市長、葛谷副市長、河口企画部長、岩田総務部長、飯田危機管理部長、石田市民環境部長、丹羽健康福祉部長、長谷川建設部長、後藤議会事務局長、石黒教育部長、三輪会計管理者、吉田監査委員事務局長
事務局	〔企画部企画政策課〕 林企画部次長兼企画政策課長、山口課長補佐、 神野課長補佐兼企画政策係長、秋山副主幹、岩田主任主査 〔株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所〕 江口支社長補佐
会議録署名委員	山田（康）委員、齋藤委員
1 開会 （林企画部次長兼企画政策課長） ただいまより、第6回 清須市総合計画審議会を開会します。 はじめに、本日の委員の出席状況についてご報告させていただきます。 女性の会 会長 佐藤委員と、令和4年度20歳のつどい実行委員会の伊藤委員のお二人は、本日、所要のためご欠席となっております。 また、本日の会議は、委員19名中、17名の方に、ご出席をいただいております、委員の過半数を超えておりますので、清須市総合計画審議会設置条例第6条第2項の規定により、会議が成立しておりますことをご報告申し上げます。 なお、本日は最後の審議会ということで、後ほど、答申の終了後に、永田市長からお礼の言葉を申し上げます。 それでは、ここからの会議の取り回しは野田会長にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。 （野田会長） 皆さまこんにちは。昨年の9月から6回にわたって開催してまいりました総合計画審議会も、本日で最終となります。本日は、総合計画の最終案の承認、そして、審議会から市に対する答申を行う予定です。また、事前に事務局から案内があったと思いますが、本日の審議会の最後には、委員の皆さまから、これまでの審議を通じての感想やご意見、今後、ご自身の市政への関わり方などを、ひとりずつコメントをいただく時間を設けたいと考えておりますので、よろしくお願いします。 それでははじめに、本日の会議の会議録署名委員を指名させていただきます。名簿の順に、山田（康）委員と齋藤委員にお願いいたします。 2 議事 《報告事項》 (1) パブリック・コメントの実施結果について （野田会長） それでは議事に入ってまいります。まずは、報告事項(1) パブリック・コメント	

の実施結果について、事務局から説明をお願いします。

(岩田主任主査)

【資料①に基づき説明】

(野田会長)

ただいま事務局から、パブリック・コメントの実施結果について説明がありました。委員の皆さんからご質問等ありましたら、ご発言をお願いします。

よろしいでしょうか。

それでは、特にご意見もないようなので、次の議事に移りたいと思います。

《審議事項》

(1) 第3次総合計画 序論・基本構想（案）について

(2) 第3次総合計画 前期基本計画（案）について

(野田会長)

ここからは審議事項となります。(1) 第3次総合計画 序論・基本構想（案）について、(2) 第3次総合計画 前期基本計画（案）について、事務局から説明をお願いします。

(岩田主任主査)

【資料②-1、②-2、②-3に基づき説明】

(野田会長)

ただいま事務局から説明がありました。これまでの審議会で、委員の皆さまからいただいたご意見をこの計画案に盛り込んでいただいています。本日、この内容で皆さまにご了承をいただければ、これを第3次総合計画（案）として承認したうえで、審議会から市への答申を行います。

なお、本日いただいたご意見等により、もし計画案の修正の必要が生じた場合は、一旦、会長預かりとさせていただき、事務局と相談のうえで計画案の修正を行い、後日委員の皆さまにご報告させていただきますことをご了承ください。

これまで委員の皆さまからいただいた貴重なご意見は、事務局で丁寧にまとめていただき、しっかり計画に盛り込まれているかと思いますが、改めてご意見やご質問はございますか。

(山内委員)

計画の内容についてはありませんが、市制20周年で鳥山明さんに手掛けていただいたロゴマークは、この総合計画案に掲載できないでしょうか。

(野田会長)

権利の問題もありそうですが、事務局いかがでしょうか。

(岩田主任主査)

市制20周年のロゴマークは、やはり権利の関係上、使用できる用途や期間が決められておりまして、この総合計画には使用しない予定です。

(水野委員)

確かに権利の問題はあると思いますが、鳥山明さんは世界的に有名な方で、今後も清須市における文化遺産のようなかたちで、デザインを残していけるとよいと思います。

(野田会長)

そのようにできればよいのですが、権利者との関係に基づくものであり、有名な方のものになればなるほど、気軽に使えなくなっていくというのが実情かと思います。ですが、市民の皆さまの率直な思いかと思っていますので、将来的に検討できるとよいかもしれません。

(後藤(鈴)委員)

資料②-3の77ページに、市のお祭りについて書かれているのですが、清須市には他にもイベントがあると思います。例えば、今週末からは、きよすイルミが開催されたりといったことがあるので、そういったものも追加してはどうかと思いますがいかがでしょうか。

(野田会長)

例えば、何か文章を少し追加して対応できるものでしょうか。全体の調整が必要となってくると難しいかもしれませんが、事務局いかがでしょうか。

(岩田主任主査)

イベントや催しをどこまで細かく掲載するのがよいかは、事務局でも検討したところです。確かに、数年前から開催しているきよすイルミも、イベントとしてだいぶ定着し、多くの方々に来ていただけるものになっていますが、その他にも、市では様々な催しをしておりますので、限られた紙面のスペースの範囲でどこまで掲載するかを考えたときに、今回は、旧町時代から続く、地域の特色があふれる4つの祭りを、市を代表する催しとして掲載していくというかたちにさせていただきました。

(後藤(小)委員)

私は教育委員として、これまでの審議会の中でも、主に学校教育についての意見を述べさせていただきました。改めて今の計画案は、学校現場の現状や子どもを取り巻く現状や問題、今後どのような取り組みをしていくか、目標も的確にまとめているので、教育委員としての観点から、非常によくまとめたのだと感じています。他にも、生涯学習やスポーツという面から、子どもから大人まで清須市民すべての方が参加できるような取り組みをしていこうという方向性で、大変よいと思います。

(野田会長)

委員の皆さまありがとうございました。

それでは、他にご意見もないようですので、この第3次総合計画案の内容をもって審議会として取りまとめることとしたいと思います。皆さまいかがですか。

〈異議なしの声〉

(野田会長)

それでは、この計画案の内容をもって、審議会です承したものとします。

《審議事項》

(3) 清須市第3次総合計画の策定に関する答申（案）について

(野田会長)

それでは、次の議事に移りますが、お手元の資料③をご覧ください。

これまでの審議会の議論を踏まえて、この答申案のとおり、当審議会から永田市長へ答申を行いたいと思います。

特に、答申案の本文第2段落からの部分で、市の将来像でも新たに掲げた、様々なものが大切に育まれる「はぐぐみ都市」の実現に向けた市政運営に努められることを希望する旨の言葉を添えたいと考えています。

この答申書の案の内容について、委員の皆さま、いかがでしょうか。

〈異議なしの声〉

(野田会長)

ありがとうございます。委員一同異議なしということで、この内容で市への答申を行いたいと思います。

3 答申

(林企画部次長兼企画政策課長)

それでは、先ほどご了承いただきました答申書を、野田会長から永田市長へお渡ししたいしたいと思います。野田会長、永田市長、前へお願いいたします。

《野田会長から永田市長へ答申書の読み上げ、手渡し》

(林企画部次長兼企画政策課長)

ありがとうございました。野田会長、永田市長、席へお戻りください。

4 市長あいさつ

(林企画部次長兼企画政策課長)

それではここで、永田市長からお礼のごあいさつをさせていただきます。

(永田市長)

ただいま野田会長から答申書をいただきました。審議会の委員の皆さま方には、長い期間にわたり、慎重に、また熱心にご協議いただきありがとうございます。

本日で最後の審議会になりますが、昨年の9月より合計6回の審議会を通して、人口減少問題、少子高齢化をはじめとして、社会情勢が大きく変わる中であって、清須市の目指すべき姿、またその実現に向けての取組をご協議いただきました。

こうして出来上がったこの総合計画を見て、各行政課題にしっかり取り組んでいかなければならないと痛感しています。

また、第3次総合計画の計画期間の始期であります令和7年度は、清須市の市制施行から20周年という節目の年でもあります。この20周年もひとつの契機としながら、この総合計画を行政運営の指針として、各行政課題に職員と一丸となって全力で取り組んでいきたいと思っています。

総合計画審議会は、今回で最後になりますが、委員の皆さまには、引き続き市の発展のためご指導、ご支援を賜りますようによろしくお願い申し上げます。

改めまして、皆さまのご尽力に心から感謝申し上げますとともに、今後のご活躍を祈念申し上げます、お礼のあいさつとさせていただきます。

どうもありがとうございました。

5 清須市第3次総合計画の推進に向けて

(林企画部次長兼企画政策課長)

本日は最後の審議会ですので、来年度から始まる清須市第3次総合計画の推進に向けて、委員の皆さまから、おひと言ずついただきたいと思います。野田会長に取り回しをお願いします。

(野田会長)

先ほど答申を終え、本日をもって当審議会は終了となります。最後に、これまでの審議を通じての感想やご意見、今後のご自身の市政への関わり方など、どんなことでも結構ですので、名簿の順にひと言ずつお願いします。

(後藤(小)委員)

教育委員の後藤です。今回、この審議会に参加させていただいて、改めて清須市の状況などを知ることができました。また、これからの清須市が向かっていく方向を考えることができる貴重な会議に参加させていただき、大変ありがたく思っています。

私は立場上、教育分野の内容を主に見てご意見させてもらっていましたが、社会情勢の変化は著しく、10年前、5年前と比べてどんどん状況が変わってきています。これから先も変わっていくと思いますが、人と人とのつながりや関わりが大切だということはこれからも変わることがないと思います。この部分を大切にしながら、「はぐぐみ都市」という清須市がこれから目指す目標となる言葉をつくっていただいたことに、未来の明るさや温かさを感じています。私自身、清須市に生まれ育ち、子育てもしてきました。これから先、より良い清須市になることを願いながら、私も協力させていただきたいと思っています。今後ともよろしくお願いします。

(水野委員)

農業委員会の水野です。先ほどのパブリック・コメントのなかで、土地利用の課題として、「住民の所有地利用に問題があるのではなか」という意見が提起されていました。私が所属している農業委員会の農地の保全と開発についての意見でもあると思いますが、現実には我々の近くまで開発の話がきています。例えば、大きな開発を行うとなった場合、地権者が50人ほどいると、そのうちの90%の人たちは了承しても、残りの10%の人が反対して、開発の計画案がつぶれるということも度々起こります。ひとり、ふたりの意見で、計画が進まなくなるのは非常に残念なことです。民間企業に開発のすべてを委ねるのではなく、行政も関係して開発を進めようという意識をもう少し高めて問題の解決につなげていけたらと思っています。今後よろしくお願いします。

(後藤(鈴)委員)

観光協会の後藤です。20年前に市の合併協議会が立ち上がったとき、永田市長も合併協議会の事務局長という立場でおみえでしたけれども、西枇杷島町、清洲町、新川町、春日町が清須市になって分け隔てなく市政が運営されるとよいと願っていました。

清須市の合併当初は色々と心配もありましたが、今は、良いまちに向かっていると感じて、安堵し嬉しく思っています。

総合計画の基本構想の計画期間は、10年間となっています。昔は、10年前だとひと昔と言いましたが、今は、時代の流れが本当に速くなっています。時代の変化に柔軟に対応しながら、行政運営を進めていただけたらと思います。

(山内委員)

寿会の山内です。役員改選により、このような審議会に出席させていただいたことを光栄に思っています。

いつも1週間くらい前に、会議の資料が届くのですが、毎回読ませていただき、生まれたての子どもから高齢者まで、いきいきと元気に生活できる地域を目指すとても良い計画の内容だと、いつも感心して見ていました。

未来にはばたく清須市になるよう期待をしています。寿会としても、社会福祉協議会とも連携しながら、様々な場面で少しでも市の発展の役に立てることがありましたら協力していきたいと思います。今後ともよろしくお願いします。

(後藤(隆)委員)

子ども会連絡協議会の後藤です。第3次総合計画の審議会に参加させていただきありがとうございました。

私は、旧清洲町に生まれ育ち約50年間暮らしていたのですが、これまでの第1次、第2次総合計画のことは全く知りませんでした。実際に、住民の大半は総合計画というものを知らないと思います。この審議会に参加することになって、このような計画があることを知り、折角の機会ですので、これまでの審議会でも色々と発言させていただきました。

私は、子ども会の会長として参加しているのですが、本計画の達成度指標で、会

議の委員の男女比率を40%～60%にということがうたっていました。しかし、子ども会の役員の男女比率は1対30となっていて、ほぼ女性しかいません。これでは、男性である父親が、子ども会や、もっと言うと子どもに対して無関心だと言われても仕方ありません。ですので、これを機に、子ども会へのお父さんの参加をどんどん促していきたいと思っています。

また、第3次総合計画は、子ども版の作成もされるということでした。期待していますので、よろしくお願いします。

(時田委員)

社会福祉協議会の時田です。今回、第3次総合計画審議会の委員として参加させていただきありがとうございます。

最近、理解しにくい横文字やカタカナの文字が多くなっているのですが、委員の皆さんのご意見もあって、それをわかりやすい日本語に変えていただくなど、わかりやすい計画になったのではと思います。

社会福祉協議会としても地域福祉の推進に努めていますが、市のこの総合計画に書かれているような内容も踏まえて取り組んでいきたいと思っています。

今後、計画の目標の達成に向けて、市職員の方も一生懸命努力されると思いますので、私たちもできるかぎり協力していきたいと思っています。今後ともよろしくお願いします。

(山田(宗)委員)

商工会の山田です。私もこの審議会は途中からの参加でしたが、聞いているなかで、委員の皆さんが市での活動を通じて本当に様々な経験を積まれていると感じました。

商工会でよく言われる課題ですと、清須市に来て食べる場所、飲食店が少ないということがずっと言われていたりします。それ以外にも、まず清須市が住みやすいまちになって、人口が増えて、子どもが増えていくことが大事だと思います。

実はいま、清須市と商工会が連携して、婚活イベントを開催できないかということで、実施に向けて検討を進めているところです。商工会青年部の方たちと、清須市で出会って「こんなよいまちなら清須市に住みたい、一戸建てを買おうかな」とつながるような婚活イベントができないかということをお話していました。そのためには、安心して子どもを育てていける環境整備が大事です。例えば、商工会のメンバーは1,400人ほどいますので、皆で子どもを守る活動としてパトロールをするなど、様々な協力ができます。商工会として、ひとつずつ具体的なことを委員会にもかけて行動していきたいと思いました。

また、例えば、清須市に来た時点で顔認証や事前登録をしたらキャッシュレスで過ごすことができるなど、モデル的なこともできればと以前から思っています。商工会のメンバー、商店の人たちにも賛同いただきながら、面白いことができればと考えています。名古屋市の隣の清須市は、一番でなければと、私はいつも思っています。

(梶浦委員)

体育協会の梶浦です。このような審議会に参加できてとてもよかったと思っています。

7つの施策とその実現に向けた23の施策が、清須市第3次総合計画としてまとめ、本日、審議会から市に答申書として提出されました。これらの政策と施策は清須市が目指す姿を示しており、非常に魅力的な内容となりました。実際には財源の問題や調整が必要になりますが、防災、減災対策の最優先課題もあるため、早急に全ての施策の目指す姿を明確にして効果が見えるかたちで具体的に進めていくことが求められると思います。最優先施策を含め、全ての施策を平行に進めるとともに、定期的に振り返りと効果の確認を行い方向性のずれがないように進めていくことが、次世代を展望した時代に対応したまちづくりという総合計画策定の趣旨に沿ったものとなると信じています。

私は、体育協会の代表としてこの審議会に参加させていただき清須市の目指す姿を審議する重要な場に関わることができたことを大変誇りに持っています。審議会で作くり上げた政策や施策を進め、実現するために、体育協会として何ができるのか、何をしなければいけないのかを考えることは私にとって大変良い経験になりました。また、市民として私に何ができるのかを改めて考えるよい機会になりました。このような貴重な機会をいただいたことを心から感謝しています。今後は清須市の発展に貢献できるよう、市政に積極的に協力していきたいと思っています。今後ともよろしくお願いします。

(渡辺委員)

手をつなぐ親の会の渡辺です。総合計画の委員として関わらせていただいたことを感謝しています。障がい者に対する施策は順調に進んできたと思っています。障害者総合支援法ができ、いろいろなサービスをたくさんの方が受けています。それにも関わらず、満足度が非常に低いのはなぜかと考えると、一人ひとり、障がいの種類や程度が違うからだと思います。事業所における支援者の数も少なく、看護師不足、ヘルパー不足で、移動支援を頼んでも1週間に1回も受けられない人や数か月に1回しか利用できないという方もいます。特に、ヘルパー不足についての話はたくさん聞いていますので、支援する方の育成等も行政にはお願いしたいところです。

清須市には民間のグループホームがあり、障がいを持つ私の娘も入ることができました。しかし、グループホームは終の棲家ではないと常に言われており、親はずっと考え続けなければならないのかと思っています。昔のように親が見ていくのが当然という時代ではなくなっているようで、皆で支えあって地域で暮らしていける共生社会の実現が私の望みです。

強度行動障害を持つ方が多くおり、最近、お母さんから相談を受けたりしています。施設で預かってくれない、グループホームも出されてしまった、そのような状態の方たちをどうしていくのかは非常に難しい課題です。来年は、児童発達支援センターができるとのことで、非常に期待しています。私の娘が小さい時には行くところがなく、兄弟を連れて名古屋市のコロニーに行ったり、児童相談所に行ったり、保健センターに行ったりと、あちこち走り回りました。身近に児童発達支援セ

ンターができ、1か所で相談ができて親子ともに通えるようになれば、私のような苦勞をしなくてよいと思いました。清須市が、障がいのある子どもたちを支え、地域で過ごすことができる優しいまちになっていくことを願っています。私も高齢になってきたので若い方にバトンタッチしていきたいと思っています。

（山田（康）委員）

行政改革推進委員会の山田です。私は、合併当初に行政改革推進委員会に参加させていただき、その時はまだ40代でした。そして第2次総合計画、第3次総合計画と続けて、審議会委員として参加させていただいています。清須市の人口は、合併以降、順調に増えたものの、ここで停滞してきて、将来的には少し下がっていくという予測をされているのですが、それを覆していただきたいです。人口が増加していく状況がなければ地域は活性化していかないので、人口増加を目指して欲しいと思います。

行政が行うのはベーシックな環境整備が一番大切です。職員の皆さんによる市役所の雰囲気そのものもそうかもしれません。それら一つひとつが、人を流入させる要因になると思いますので、しっかりと結果を見ていきたいと思っています。行政改革推進委員として、第3次総合計画につきましても、今後の推進状況をみさせていただく立場にありますので、よりよい結果が得られるよう期待をしております。

（齋藤委員）

消防団の齋藤です。総合計画審議会には、第1次の策定の時から参加させていただいています。かねてから、東海地震、南海トラフ地震の問題があり、災害が起こらないとよいと思いながら10年が経ちました。また次の総合計画策定の時まで、同じように起きないことを願いますが、自然災害は本当にいつ起こるかわかりません。災害時に大切なのは、まず自分の命です。団員にも日々、「まず自分の命を守れ、それが次につながる」ということを言っています。一人ひとりが自分自身の命を守ることで、災害に強いまちにしておくことが大事だと思います。

私は、第1次、第2次、第3次と、この審議会に携わってきましたが、振り返ると今までは少し堅苦しい言葉が使われていました。総合計画の基本理念も、前回は「連携」という堅い表現でしたが、今回は「はぐくみ」となっており、つながる温かいイメージになって嬉しく思います。また、現在、市制20周年のキャッチコピーで使われている「紡ぐ」という言葉、この言葉も縦横無尽につながるイメージで、温かい言葉です。これらの言葉を大切にしながら、今後10年間、温かい清須市であってほしいです。今後も清須市の防火、防災、安心安全なまちづくりをしていきたいと思っています。

（前田委員）

地域公共交通会議の前田です。公共交通という文言をしっかりとこの審議会でもりあげていただいております、ありがたく思っています。今後とも、長寿社会における移動手段としてコミュニティバスが運行され、高齢者の移動手段のひとつとして皆さまに活用していただけると大変ありがたいと思っています。私ももう高齢者のひとりで、時々コミュニティバスを使っています。これからもっと利用者が増えてく

ると公共交通としてのコミュニティバスへの要望も多くなってくると思います。そういったなかで、コミュニティバスが、清須市が明るいまちであるために運行されていくことを切にお願いします。

(原委員)

令和5年度20歳のつどい実行委員会の原です。私は、この審議会に参加するまで総合計画というものがあることを知りませんでした。計画をつくるにあたり審議会が開かれていたことも、清須市はどんな問題を抱えているのか、どのような取り組みをされていたのかも知りませんでした。今回、審議会に参加したことで、清須市の問題や目標や取り組みを知ることができました。私たち若い世代は、生まれ育ったからなんとなく清須市に住んでおり、実は清須市のことをよく知らない人が多いと思います。清須市の目標である「はぐくみ都市」を実現するためには、若い世代がもっと積極的に動き、清須市について学ぶことが必要だと感じました。総合計画そのものを読むのは少しハードルが高いかもしれませんが、概要版としてビジョンブックも作成されるということで、若い世代のいろんな人が読んでほしいと思いました。私もこれからもっと地域のイベントに参加したり、清須市について勉強したり、自分から動けるように頑張りたいと思います。このような貴重な審議会に参加させていただきありがとうございました。

(高山委員)

まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員の高山です。今回は第3次総合計画審議会に参加させていただきありがとうございます。現場で行政に携わっている皆さまと比べたら、私が市のことについて見られるのは氷山の一角と思っています。参加している自分がそうなのだから、市民はもっとわからないのだろうと感じています。様々な会議などがありますが、市民にはなかなか伝わっていないのが現状だと思います。私は、山田委員と一緒に、行政改革推進委員会も15年ほど務めています。パブリック・コメントのご意見の中には、会議のあり方についてのご意見もありました。15年前と比べるとかなり変わってきています。意見の内容も構成比も違います。そういった社会の変化に応じて変わってきたということも、もっと市民に伝えていける部分はたくさんあるのだろうと思って、本日の資料も見させていただきました。どんな細かいことでも、しっかりと伝えていくことで市政に市民が参画していただけるのではと思っています。

(横井委員)

市民参画会議の横井です。審議会に参加させていただくこととなったとき、はじめは会議の資料を読んでどうしようかと思いました。とりあえず目を通したのですが、実際に審議会に参加したときに、自分に何が言えるのだろう、何のための会議なのだろうと思い、私にとってはかなりハードルが高いところでした。聞きなじみのない言葉もたくさん出てきます。そのような中でも、皆さんのご意見も伺いながら、私も率直な意見を言わせていただきました。その結果、この総合計画案のなかに、自分がこうなってほしいと思っていたことが文章に現れていて、とても嬉しく思っています。

私は子ども食堂をやっているの、子どもを中心に市がどんどん変わってほしいです。私の希望としては、小学生や中学生で朝食をとらない子どもがいるならば、そういう人たちにも何かボランティアでできることがあれば、学校と協働してお手伝いできたらいいなと思っています。子ども食堂の活動を通じて、子どもに対して支援ができればよいなと思います。

(水谷副会長)

このような貴重な機会をいただきありがとうございます。私は、第2次総合計画策定之时から携わらせていただいていますので、感慨深いものがあります。当時から比較すると、市民の皆さまの声を聞くことがスムーズな仕組みでできるようになってきており、変わってきていることを実感しています。そういったなかで、次の課題も見えてきていますので、少し紹介させていただきます。

ビジョンブックに掲載される予定の、市民参画会議を通じて作成された市の将来像のイラストが非常に素晴らしいと思います。やはり、テキストは読むのが大変なので、パッと見て視覚的にわかるというのはとてもよいと思い、どこかに掲げて貼っておくのもよいと思いました。

一方で、様々な障がいなど、市としてケアすべき、声を聞くべき方々がここに見えていないのが残念です。本当に支援が必要な人の存在がわかるとよいと思います。イラストの中で、身体障がいをお持ちの方をケアしている方が2人とも女性で、ダブルケア予備軍のように感じられるので、この辺りも総合計画と整合が取れるとよいと思います。

先ほど、市長もおっしゃっていましたが、現在はめまぐるしく社会情勢が変わっていき、海外でも国内でも動向が変わってきています。特に若い方は、SNSが身近にあって情報をすぐにつかんでいく。兵庫県の知事選挙を見ても1～2週間で情勢が大きく変わるということを肌で感じるようになりました。総合計画の基本構想は10年間の計画なのですが、これを大事にしながら、変わっていく社会にどのように対応していくのかが、今後の課題として大きいと思います。パブリック・コメントでもありました、若い世代の参加は必須だと思います。若手の方と一緒にどう作っていくのか、まちづくりを動かしていくのかはとても楽しみなところだと思っています。

また、先ほど水野委員から10%の人の反対で事業が止まったり、なくなったりするという話がありました。それは、私の専門の合意形成の部分なのですが、利害関係者の方といかに合意形成をしていくのか。今、行政法のなかに調停というものがない状態ですが、調停をこれから日本で法制化していくことが大事だと思っていますので、勉強しながらご意見をいただけるとありがたいと思っています。

(野田会長)

委員の皆さまから様々な意見をいただきました。こういった会議の場では、たくさんの方がいますので、本音をしゃべることができなかつたり、緊張して発言しにくかつたりする部分があると思います。そのなかでも清須市では、いろんな意見を自由に発言してもらったかたちで進められていて、委員の皆さまにもある程度本音でお話いただけたかなと思っています。なぜ本音で発言できるのかを考えたのです

が、皆さまが日頃から清須市のこと想い、清須市を誇りに思っているので本音で意見が言えるのだと思いました。誇りに思える都市というのは、大都市の人がよく言います。確かに人々のエネルギーはそちらの方向に向いているのかもしれませんが、見栄を張ったり、ギスギスしたりしながら生きてきて、年齢が上がっていくとようやく気付いてくる。30代後半くらいから「本当の豊かさとは何だろう」と考えたときに、「はぐくみ」というのが本質なのだろうと思います。自治の本質は「はぐくみ」だと思いますし、それを最先端で言っている新しさも今回あったように思います。この新しさをもとに、他地域からも人が来てほしい。「はぐくみ」は子どもを育てていくということだけではなく高齢者になっても「自分は育まれているのだ」という謙虚さがあるのが特徴だと思います。謙虚さが前提にあれば、市全体や市の優先順位、様々な課題をみんなが我が事として思い、清須市のためであればこれをやるよ、というような、自治のモデルになっていくと思っています。わかりやすい「はぐくみ都市」という言葉を掲げて、この実現に向けて取り組んでいくので、それが今後、皆さまの心をつかんでいくだろうと思います。

この審議会を通じて、委員の皆さまのご意見を伺い、事務局で作られた計画案を発展させながら、私自身、勉強させていただきました。上手く会議を進行することができなかった点もあり反省していますが、引き続き、清須市にご協力していきたいと思っています。

委員の皆さまにおかれましては、重ね重ね感謝申し上げます。来年度から第3次総合計画に基づいた行政運営を進めるにあたり、事務局には、これまでの審議を含めて、委員の皆さまからの意見を基に進めていければと思います。

6 閉会

(野田会長)

以上で、本日予定されていた議事は全て終了いたしました。事務局にお返しします。

(林企画部次長兼企画政策課長)

委員の皆さまにおかれましては、昨年9月から長期間にわたりましてご審議を賜りまして誠にありがとうございました。清須市第3次総合計画については、12月中に策定し、翌年3月末には総合計画の冊子やビジョンブック等を製本する予定となっています。完成しましたら、委員の皆さまにもお送りしますのでご承知おきください。

それでは、改めて、これまでのご審議に感謝を申し上げるとともに、引き続き本市の市政運営にご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

以上をもちまして、第6回清須市総合計画審議会を閉会いたします。

どうもありがとうございました。

会議の経過を記録して、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

署	名	委	員	山田康博
署	名	委	員	齋藤雅美